

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (01-11)

団体名	(特非) アイリス	代表者名	代表理事 合田 真弓
事業名	STOP! THE 介護離職		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月22日	フリースペース YAMAUCHI	5 (1)	アイリスのRIBBONcafe 介護者同士の交流会
5月27日	フリースペース YAMAUCHI	6 (1)	アイリスのRIBBONcafe 介護川柳を楽しむ会第1回
6月29日	フリースペース YAMAUCHI	5 (1)	アイリスのRIBBONcafe 介護川柳を楽しむ会第2回
7月27日	フリースペース YAMAUCHI	6 (1)	アイリスのRIBBONcafe お茶を飲みながら介護者の交流会
10月27日	フリースペース YAMAUCHI	8 (1)	アイリスのRIBBONcafe アロマのお話第1回(アロマストーン作りをしながら介護の経験談やストレス解消・認知症予防)
11月24日	フリースペース YAMAUCHI	5 (1)	アイリスのRIBBONcafe アロマのお話第2回(アロマストーン作りをしながら介護の経験談やストレス解消認知症予防)
12月22日	フリースペース YAMAUCHI	5 (1)	アイリスのRIBBONcafe アロマのお話第3回(アロマクリーム作りをしながら介護の経験談やストレス解消・認知症予防)
1月26日	フリースペース YAMAUCHI	5 (1)	アイリスのRIBBONcafe アロマクリームとなないろカードで終活のお話
7月24日	わたなべ鍼灸院	1 (1)	心トリートメントの日 個別にお話を聞く会
12月29日	わたなべ鍼灸院	2 (2)	心トリートメントの日 個別にお話を聞く会
7月 4日	いたみホール中ホール	65 (3)	もしもの時のためのエンディングノートづくり講座(なないろカードの書き方セミナー) 民生委員児童委員研修会として開催
7月28日	いきいきプラザ	40 (3)	同上
9月 8日	ラスタホール	66 (3)	同上
9月15日	大鹿交流センター	28 (2)	同上
10月20日	天神川団地集会所	30 (1)	同上
10月27日	きららホール	45 (3)	同上
10月29日	はなみずきセンター	20 (4)	同上
11月10日	みずほセンター	20 (3)	同上
2月 7日	鴻池センター	15 (2)	同上

## <効果と成果>

ケアラズカフェリボンカフェは、一昨年、昨年と定期的を開催することで参加者も増えてきてアロマセラピー等を取り入れることで癒しの時間を提供でき介護や仕事の悩み事や困りごとを話しやすい雰囲気作りもできた。

今年度は、“想いを伝えるなないろカード”の普及事業に力を入れた。伊丹市地域高年福祉課の企画により民生委員児童委員連合会の協力も得て、講座を9回開催、約300名の参加者があり、講座後に地域高年福祉課の窓口で配布しているなないろカードをもらいに来る人が200名以上あった。当初民生委員児童委員連合会担当者は「介活」の必要性を感じていなかったが回を重ねるごとに反響があり介護への備えの大切さを伝え、社会福祉協議会とも連携を作ることができた。

なかなか書けないエンディングノートを誰もが取り組みやすい形で伝えていくことで、介護や終活に関心を持ち、家族同士で想いを伝えあい、介護のために苦しむことのないよう受援力をつけ地域社会で支え合うことを理解していくきっかけを作ることができた。

## <今後の展望>

コロナ禍の中で始まった3年間の事業で、人数制限や飲食禁止で公共施設の利用が思うようにできず場所の確保や集客に苦勞したが来年度からは、利用料が無料の公共施設などを利用してケアラズカフェRIBBNcafeを継続・定着させていきたい。代表の体調不良により心トリートメントの日が計画通りに開催できなかったことが反省点、今後どのような形で行っていくのが課題である。また伊丹市版エンディングノート“想いを伝えるなないろカード”を使って介護への知識や理解を深めて、介護と仕事の両立ができるように支え合う意識を高めていく活動を続けていく。

今後も伊丹市地域高年福祉課との協働事業を継続していき、伊丹市から他市へも介護離職をなくすための活動として“想いを伝えるなないろカード”の普及を行っていきたい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	450,000
自己資金	76,690
カフェ事業収入	4,500
会費収入	66,000
合計	597,190

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	謝金・人件費	359,000	331,300
	消耗品費	54,231	17,700
	会場費	24,000	24,000
	その他 ( 等)	12,134	10,000
	小 計	449,365	383,000
間接経費 (一般管理費)		147,825	67,000
合 計		597,190	450,000